

日本アルプスの 大規模地すべり

日時

2013
12/7 土
10:00 ▶ 16:50

会場

信州大学理学部
C棟2階大会議室 (松本市旭3-1-1)

参加費

無料 申込み **不要** (お気軽にご参加ください)

主催：信州大学山岳科学総合研究所
日本地理学会「日本アルプスの大規模地すべり研究グループ」
後援：日本地理学会

プログラム

10:00~11:45	苅谷愛彦(専修大学)「日本アルプスの大規模地すべりー最新の知見」 原山 智(信州大学)「北アルプスの地質と隆起運動」 佐藤 剛(帝京平成大学)「北アルプスに分布する地すべり地形を対象とした空中写真判読の手法」 齋藤 仁(関東学院大学)「日本アルプスにおける大規模地すべりの分布と地形・地質との関係」
11:45~12:45	昼食休憩
12:45~15:10	松四雄騎(京都大学)「地表面露出年代法を用いた大規模地すべりの発生年代の決定」 西井稜子(筑波大学)「地表面露出年代測定と現地観測による大規模地すべりの先駆的斜面変形プロセスの解明」 高岡貞夫(専修大学)「地すべりが山地生態系の発達に果たす役割」 岩田修二(東京都立大学名誉教授)「地すべり地形に侵食される氷河地形」(コメント) 池田 敦(筑波大学)「氷河・周氷河プロセスに関連した大規模地すべり」(コメント) 朝日克彦(信州大学)「ヒマラヤの大規模地すべりと地表面露出年代法の諸問題」(コメント) 佐藤 浩(日本地図センター)「リモートセンシングやGISによる地生態学研究とその山岳地への応用」(コメント)
15:10~15:30	休憩
15:30~16:50	総合討論